

## 教員の取得学位及び主な著書・論文等

- ◆職 位：准教授
- ◆氏 名：白井 裕子
- ◆取得学位：修士(看護学)
- ◆主な著書・論文等

著書・論文等の名称	全著者名	掲載誌名	出版年月(西暦)	巻	号	頁
喪失体験を繰り返した男性野宿生活者のレジリエンス	白井裕子	名古屋大学人文学研究科 人文学フォーラム	2020年3月		3	273-289
症例報告から見る野宿生活者が罹患しやすい疾患の特徴と受診に至る経緯についての文献検討	白井裕子, 蒔田寛子, 佐々木裕子	豊橋創造大学紀要	2019年4月		23	31-44
野宿生活者に関する研究内容の分析と今後の課題ー2001年から2015年の国内文献調査から女性野宿生活者に着目してー	島田友子, 白井裕子, 吉岡萌, 佐々木裕子, 井上清美, 稲垣絹代	名桜大学総合研究	2019年 3月		28	141-148
当事者参加による講義の効果ー重症筋無力症とともに生きる人の語りー	白井裕子, 佐々木裕子	日本在宅看護学会誌	2018年10月	7	1	218-227
路上で生きる「いのち」ー野宿生活者の「死」に直面した体験からー	白井裕子, 佐々木裕子	ホスピスケアと在宅ケア	2017年 2月	25	2	135-140
地域で活動する訪問看護ステーションが協働で取り組む災害対策の看護ケアモデルの開発	佐々木裕子, 白井裕子, 小塩泰代	地域ケアリング	2016年 2月	18	3	95-99
野宿生活の人々との関わりからー名古屋, 大阪, 沖縄での健康相談活動ー	白井裕子, 佐々木裕子, 井上清美, 稲垣絹代	保健師ジャーナル	2014年 3月	70	3	222-227

### ◆競争的資金による主な研究

研究テーマ	実施年月(期間)	外部資金名
野宿生活者が路上にとどまる理由ー野宿生活の長期化に影響を与える野宿生活者の経験ー	2019年4月～現在	日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C) 研究代表者

地域の多職種と協働で行う医療ケアが必要な子どもと家族が楽しめる社会参加の場の開催とそのモデル化	2018年4月～2019年3月	勇美記念財団在宅医療助成金 研究分担者
野宿生活者が「野宿」から「社会」に戻ることを目指した看護支援	2015年4月～2019年3月	日本学術振興会科学研究費補助金 (基盤研究C) 研究代表者
地域で活動する訪問看護ステーションが協働で取り組む災害対策の看護ケアモデルの開発	2014年4月～2017年3月	日本学術振興会科学研究費補助金 (基盤研究(C)) 研究分担者
野宿生活者が主体的に健康に取り組むことを目指した看護支援	2011年4月～2015年3月	日本学術振興会科学研究費補助金 (挑戦的萌芽研究) 研究代表者
野宿生活体験者の健康の意味に基づいたセルフケア行動を促進するための看護援助	2008年4月～2011年3月	文部科学省科学研究費補助金(基盤研究C) 研究分担者
在宅看護学実習の実習記録を通した学生の学びの検討	2007年10月～2008年3月	愛知医科大学研究奨励金 研究代表者
ホームレスの健康を促進する看護支援のあり方	2007年4月～2010年3月	文部科学省科学研究費補助金(若手研究B) 研究代表者
効果的在宅看護実習の開発ー学生の体験からの学びに焦点を当ててー	2004年4月～2005年3月	愛知医科大学看護学部共同研究費 研究分担者
非定住者の生活ニーズと保健・医療・福祉の支援のあり方	2003年4月～2006年3月	文部科学省科学研究費補助金(基盤研究C) 研究分担者
地域における家族サポート看護実践ーヘルスプロモーションを基盤にー	2002年4月～2004年3月	文部科学省科学研究費補助金(基盤研究C) 研究分担者